Artiza Design

AZ01MR

WiMAX Mobile Router
Operation Manual Ver.1.2

WiMAX
Speed Wi-Fi

WiMAX
UQ
CERTIFIED

重要
ご使用前には必ず本取扱説明書をよくお読みになり
正しくお使いください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

目次

・本製品の使い方 ---------- 2
・各部の名称と働き ---------- 3
・本書の表記について（Wi-Fi／WiMAXに関するご注意） ---------- 6
・安全にお使いいただくために、必ずお読みください ---------- 8

1. 製品の準備をします ---------- 13
1.1 付属品を確認します ---------- 14
1.2 バッテリーを取り付けます ---------- 14
1.3 付属のUSBケーブルで充電します ---------- 15
2. パソコンの準備をします ---------- 16
3. インターネットに接続します ---------- 18
3.1 PCとの接続 ---------- 19
3.2 無線LAN（Wi-Fi）内蔵のゲーム機から接続する ---------- 28
3.3 無線LAN（Wi-Fi）で iPhone/iPod touch/iPadから接続する ---------- 29
4. Web管理画面の使い方 ---------- 30
4.1 Home（ルータ情報） ---------- 32
4.2 無線LAN（ワイヤレスネットワーク設定） ---------- 33
4.3 IP設定 ---------- 35
4.4 アドバンスト ---------- 36
4.5 Admin（アドミニストレーション） ---------- 41
4.6 About（本体情報） ---------- 43
5. 故障かな？と思ったら ---------- 44
5.1 インターネット接続ができない場合 ---------- 45
5.2 Wi-Fi対応機器が接続出来ない ---------- 45
5.3 電源が入らない ---------- 45
5.4 回線加入の時、サインアップ中に問題が発生した場合 ---------- 46
5.5 その他のトラブル ---------- 46
5.6 本製品の初期化方法について ---------- 51

6. AZ01MR スペック ---------- 52
7. お問い合わせ ---------- 53

・お願い ---------- 54
・本製品で使用しているソフトウエアについて ---------- 55

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

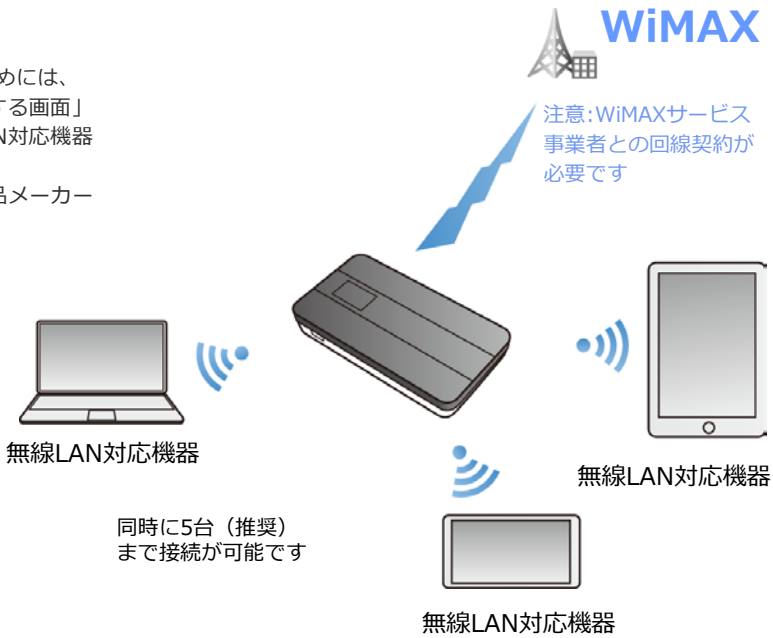
本製品の使い方

この度は WiMAX モバイルルータAZ01MRをご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品のご利用には、WiMAXサービス事業者との回線契約が必要です。また、WiMAXサービスエリア内かつ通信可能な場所でお使いください

無線LAN（Wi-Fi）で接続する

無線LAN(Wi-Fi)対応機器を本製品に接続するためには、無線LAN対応機器の「ネットワーク接続を設定する画面」で本製品と接続することが必要です。各無線LAN対応機器により設定方法が異なります。
本マニュアルに記載されていない詳細は、各製品メーカーへご確認ください。

PCとの接続 19 P
無線LAN内蔵のゲーム機から接続 26 P
iPhone/iPod touch/iPadから接続 27 P

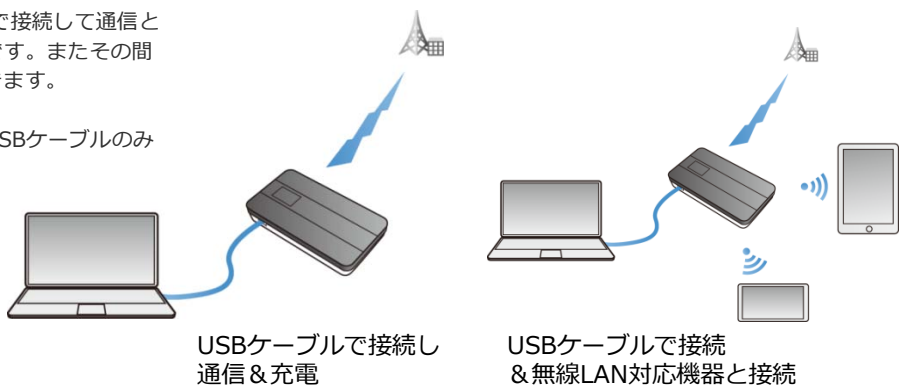


USBケーブルで接続する

本製品とPCなどをUSBケーブルで接続して通信と同時に充電まで行うことが可能です。またその間無線LAN対応機器とも接続ができます。

※バッテリーの装着をせずに、USBケーブルのみの接続では使用できません。

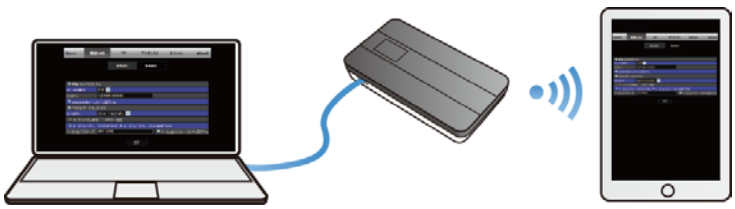
PCとの接続 20 P



WEB管理画面で「機器の設定」をする

本製品の設定はインターネットに接続（http://192.168.0.1)をし「WEB管理画面」から行うことができます。
使用のスタイルに合わせて設定すれば、本製品をより快適にお使いいただけます。

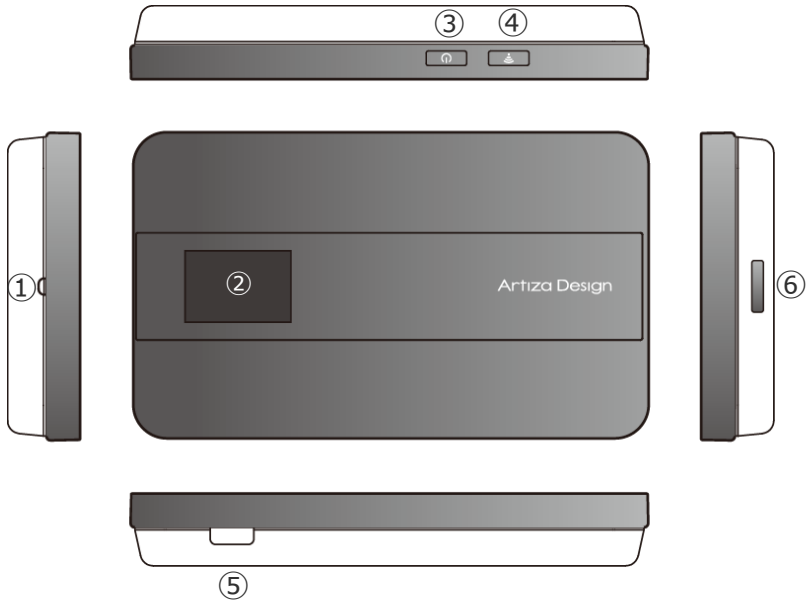
WEB管理画面でできること（主な項目）
・WiMAXサービス回線の契約手続き
・ディスプレイの設定（省電力）
・セキュリティの設定（KEYの変更）
・ソフトウエアの更新など



Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

各部の名称と働き

本体の名称と機能



①ストラップ穴　③POWERボタン　⑤マイクロUSB
②ディスプレイ　④Wi-Fiボタン　⑥バッテリーカバー取り外しボタン

【POWERボタン】 ⏻

・約2秒押しで、電源がONまたはOFFになります。
・電源ON時の短押しで表示の確認ができます。

電源ONからの起動時間を短くする為にバッテリー装着後には“微量な電力”を消費していますが、通信可能になる状態を“電源ON状態”と本製品では定義しています

【 Wi-Fiボタン】 ᯤ

・本体の電源がONになっている状態で約2秒押すとWi-Fiの状態がONまたは、OFFになります。
・電源ON時の短押しで表示の確認ができます。
・ディスプレイが表示されているときに短押しするとSSIDが表示されます。

※工場出荷時の状態にリセットする場合、電源がONになっている状態でPOWERボタンとWi-Fiボタンを同時に5秒以上押してください。（詳細49ページ）

ご注意！

ディスプレイに“Please Wait... ”の表示がされている時にはボタン操作ができません。
起動・終了の動作中で、製品は正常に動作をしていますのでしばらくお待ちください。
・バッテリーを装着した後、約数十秒の間
・電源をOFFしてから数十秒の間

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

各部の名称と働き

ディスプレイに表示される内容と意味

“ ボタンを押して”
ディスプレイを確認します

本製品の動作状態はディスプレイでご確認いただけますが省電力の為ディスプレイが常時点灯しない仕様になっております。 ボタンを押していただくことによりディスプレイの確認ができます。点灯時間は本製品のWEB管理画面で変更が可能です。

①電波受信レベルアイコン	電波の強さ(大)⇔ (小) (圏外)
②WiMAX接続状況アイコン	ACT アイコン点灯中インターネットに接続できます
③Wi-Fi状態アイコン	Wi-Fiの接続状況が表示されます Wi-Fi動作中：点灯 Wi-Fi停止中：消灯
④Wi-Fiに接続している クライアント数	2 接続しているクライアント数が表示されます
⑤バッテリーアイコン	バッテリーの状態が表示されます。 バッテリー残量（多） ⇔ （少） ⇔ （無） 充電中：充電中アイコンが点灯 電源オフ時：表示されません WiMAX未接続時：未測定表示 ※上記のバッテリー表示は、バッテリーのみを取り付けてお使い頂く場合の表示目安です※圏外では電池残量は表示されません
⑥Update状況アイコン	本製品のソフトウェア更新がある場合に表示されます 更新ファイル有り：アイコン点灯 更新ファイル無し：アイコン消灯

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

各部の名称と働き

ディスプレイに表示される内容と意味

ディスプレイ中央には状況に合わせて以下のメッセージが表示されます。

Please Wait...	待機中 起動・終了の動作状態です。表示中は操作ができません。 メッセージが消えるまでの間お待ちください
Connecting... **No Service**	WiMAX電波受信状況：WiMAX電波受信状況が表示されます **Connecting**：WiMAX接続準備中です **No Service** ：電波を受信できていません
Open Browser **Not Activated**	WiMAX契約状況：電源投入後WiMAXの契約状況が表示されます **Open Browser**：契約ができる状態です 契約を行ってください **Not Activated** ：WiMAXサービスエリア内で契約を行ってください
Low Battery	バッテリー残量警告 バッテリー残量が少ない場合充電が必要な旨が表示されます
Updating...	Update状況 Updateを実行するとUpdateを実行している旨が表示されます

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

本書の表記について

本書では本製品の設置、接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法など本製品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本製品をご使用前に、本書を必ずお読みください。

マニュアル構成
本製品のマニュアルは下記のように構成されております。ご利用の目的に合わせてお読みください。

クイックガイド　　各部の名称、基本設定からインターネットが使えるようになるまでの手順を説明しています。

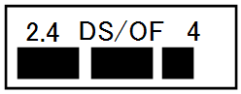
取扱説明書（本書）　本製品の詳細についての説明書です。

■電波に関する注意事項

●この製品のWi-Fi使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定省電力無線局並びにアマチュア無線局運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、「弊社サポート窓口」までご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売元もしくは弊社サポート窓口へお問い合わせ下さい。

●2.4GHz 帯使用機器・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否表示



2.4　　：2.4GHz帯を使用する無線設備であることを示す
DS/OF　：DS-SS方式およびOFDM方式を示す
4　　：想定される干渉距離が40m以下であることを示す
■■■　　：低、中、および高域の一部を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■WiMAX通信をご利用いただくにあたって

●本製品は日本国内でのご利用を前提としています。海外でのご利用はできません。
●WiMAXサービスエリア外ではご使用になれません。
●サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車内、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかったり、通信品質が低下する場合があります。また、高層ビル・高層マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない可能性があります。あらかじめご了承ください。
●WiMAXの通信品質は、家具の位置や建物の構造、使用者の移動速度など様々な要素によって大きく変動します。
●電波状態が一定以上悪化すると通信が途切れることがあります。ただし、電波状態が良好な場所でも場合によっては通信が途切れる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
●本製品は、高度な認証・暗号化技術を用いた安全な通信が可能ですが、電波を利用する性質上、第三者に通信を傍受される可能性があります。お客様ご自身の判断と責任において、お使いのパソコンのセキュリティに関する設定を行うことを強くお勧めします。
●この製品は、UQ WiMAXネットワーク環境でご使用になれますが、本製品の品質等に関してUQコミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

本書の表記について

■Wi-Fi／WiMAXに関するご注意

●WiMAXの通信速度、最大下り40Mbps/上り10Mbps（規格値）はIEEE802.16eの規格で定められたデータ転送速度の最大値であり、実際のデータ転送速度を保証するものではありません。
●Wi-Fiの最大通信速度54Mbps（IEEE802.11g）および11Mbps（IEEE802.11b）規格で定められたデータ転送速度の最大値であり、実際のデータ転送速度を保証するものでありません。

■本書に記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

Artiza Designはアルチザネットワークスの登録商標です。

Windows、 Windows XP、 Windows Vista、Windows 7は、米国Microsoft Corporationの米国および
その他の国における商標または登録商標です。
Mac、Macintosh、iPad、iPod touch、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple，inc．の商標または登録商標です。
Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Safariは、Apple Inc．の商標です。
Google、Google Chromeは、Google Inc．の商標または登録商標です。
Operaは、Opera Software ASAの商標または登録商標です。
ニンテンドーDS、Wiiは、任天堂の商標または登録商標です。
Play Station 3、PSPは、ソニーの商標または登録商標です。
Xboxは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国におけるマイクロソフトの商標または登録商標です。

WiMAX、WiMAX Forumロゴ、WiMAX Forum Certified、及びWiMAX Forum CertifiedロゴはWiMAX Forumの商標です。
Wi-FiとWi-Fi CERTIFIEDはWi-Fi Allianceの登録商標です。

株式会社アルチザネットワークスの許可なく本取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を
配布することはできません。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

安全にお使いいただくために

本製品のユーザーであるあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。本製品及び、付属するACアダプター、バッテリー、ケーブルについての内容を記載しています。本製品を安全にお使い頂くために、本書では次のようなマークを使用しています。

絵記号の意味

警告、注意をうながす記号

発火注意　感電注意

行為を指示する記号

一般指示　電源プラグからコンセントを抜く

警告、注意をうながす記号

一般禁止　水濡れ禁止　分解禁止　濡れ手禁止　火気禁止

危険　この警告を無視して誤った設置、取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う恐れがある事を示しています。

●以下の場合、発熱、破裂、発火の原因となります
・充電には弊社が認証した標準型充電器を使用し、指定の充電条件を必ず守ってください。
・バッテリー端子のショート、火中や水中への投入分解改造は絶対に行わないでください。
・バッテリーを火中に投下する、火気に近づける、加熱する、あるいは高温状態で放置することはしないでください。
・バッテリーを落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。

●小さなお子様の手の届かないところで保管、使用してください。本製品やバッテリーを口の中に入れないようご注意ください。窒息のおそれがあります。

警告　この警告を無視して誤った設置、取り扱いをすると人が死亡するまたは重傷を負う可能性がある事を示しています。

●使用中に煙が出たり、異臭がする、異常な音がするなど、異常が発生した場合は、すぐに本製品の電源を切り、保証書記載のお買い上げ店か弊社カスタマサポートまでご連絡ください。そのまま使用を続けると、破裂・発火・火災・感電の原因となります。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

安全にお使いいただくために

●本製品を水や液体などに浸したり、濡らしたりしないでください。また、雨などで濡らさないようにしてください。濡れた手での使用はしないでください。万一内部に水などが入った場合はすぐに本製品の電源を切ってください。そのまま使用を続けると、火災や感電、故障の原因となります。

●本製品の外部接続端子内に、ゴミやホコリ、金属片などの異物を差し込まないでください。内部に異物が入った場合はすぐに本製品の電源を切ってください。そのまま使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本製品を落としたり、強い衝撃を与えたり、破損させたりした場合は、すぐに本製品の電源を切ってください。本製品が破損した場合は、保証書記載のお買い上げ店か、お客様相談窓口までご連絡下さい。破損したまま使用を続けると、火災や感電、故障の原因となります。

●本製品は一般家庭向け機器として設計・製造されています。生命維持に直接関わる医療機器や基幹通信機器や交通制御システムといった極めて高い信頼性を要求されるシステムに使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生したり、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

●本製品を分解、改造、修理しないでください。火災や感電、故障の原因となります。修理が必要な場合保証書記載のお買い上げ店か、お客様相談窓口までご連絡下さい。

●植込み型ペースメーカまたは植込み型除細動器を装着されている場合は、本製品を装着部から22cm以上離して携行および使用してください。電波により、植込み型ペースメーカおよび植込み型除細動器の動作に影響を与える可能性があります。

●混雑した電車内などでは、付近に植込み型心臓ペースメーカや植込み型除細動器を装着している人がいる可能性がありますので、本製品の電源を切ってください。電波により、植込み型ペースメーカおよび植込み型除細動器の動作に影響を与える可能性があります。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

安全にお使いいただくために

●医療機関内での本製品ご利用は以下の注意と各医療機関の案内および指示にしたがってください。
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には持ち込まないでください。
・病棟内では電源を切ってください。待合室などでも付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止場所や持ち込み禁止場所を定めている場合は、指示に従ってください。

●自宅療養などで、医療機関以外の場所で医用電気機器を利用されている場合は、電波による影響について個別に各医用電気機器メーカにご確認ください。電波により、医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

●航空機内や医療機関など、無線機器の使用が制限されている場所では、本製品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与える場合があります。

●本製品によって自動車やエレベータ、自動ドアなどの自動制御電子機器に影響がでた場合は、安全走行や安全進行が阻害されるおそれがあります。直ちに本製品の電源を切ってください。

●本製品の付近にグラス、鉢植え、香水、薬品や水などの液体が入った容器、小さな金属類を置かないでください。本製品の内部に液体などが入った場合は、すぐに本製品の電源を切ってください。そのまま使用を続けると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

●本製品を風呂場や加湿器の近くなど、湿気の多くなる場所で使用、または保管しないでください。火災や感電、故障の原因となることがあります。

注意　この注意を無視して誤った設置、取り扱いをすると、軽度の人的損害またはデータの遺失等を含む物的損害を受ける恐れがあることを示しています。

●本製品は、日光が直接あたる場所や、暖房器具など発熱する機器の近く、真夏の炎天下や閉め切った車内など高温になるところでの使用、保管、放置しないでください。機器の変形や故障の原因となります。また、本製品の一部が発熱してやけどの原因となったり、本製品の一部が高温になって火災の原因となることがあります。

●キッチンの近くなど、油が飛んだり湯気が当たったりするような場所に本製品を置かないでください。
火災や感電、故障の原因となることがあります

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

安全にお使いいただくために

●不安定な物の上や傾いた場所などに本製品を置かないでください。また、本製品の上に重い物を置かないでください。落下して、ケガや破損の原因となることがあります。

●エアコンなどの冷暖房機器の近くなど、温度が大きく変化する場所に本製品を置かないでください。結露が発生し、火災や感電、故障の原因となることがあります。

●本製品の上に乗らないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が発生した場合、すぐに本製品の電源を切ってください。特に広く開けた屋外で利用している場合は、すぐに安全な場所に避難してください。落雷のおそれがあります。

●本製品は使用中や使用後に温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし長時間直接皮膚に触れ続けると低温やけどの原因となることがあります。

●本製品をズボンのポケットなどに入れて、持ち歩いたり椅子に座ったりしないでください。力が加わると、破損や故障の原因となることがあります。

●体質によって、本製品に使われている塗料や金属などが原因でかゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされる可能性があります。症状が出たときはすぐに使用を中止し医師とご相談ください。

●本製品を保管する場合、0～40℃で保管してください。この温度の範囲外では本製品の性能・寿命を低下させる原因になることがあります。

●ディスプレイ（有機EL画面）について
・有機EL画面はガラスでできているため、無理な力が加わると割れることがあります。取り扱いには充分注意してください。
・非常に精密度の高い技術で作られていますが、点灯しない点や、常に点灯する点が現れることがあります。また電源を切ったときに、数秒間画面が乱れることがあります。いずれも故障ではありません。
・液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めます。窓際や屋外に置くときなどは、注意してください。
・寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
・長時間同じ画像を画面に表示したままにすると、残像現象（画像の焼き付き）が起こることがあります。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

安全にお使いいただくために

ご使用にあたっての注意事項

●本製品を安全に正しくお使いいただくため、次のような場所では使用しないでください。
・振動の多い場所
・薬品に触れる場所または、気化した薬品が充満してる場所
・電子レンジ、ラジオ、テレビなどの付近
・電気溶接機や高周波ノイズを発生する高周波ミシンなどの近く
●テレビやラジオ、コードレス電話などの近くで本製品を使用した場合、受信障害、ノイズ発生、本製品の通信障害などが起こる可能性があります。本製品と各機器との距離を離して使用してください。
●アルコール、ベンジン、シンナーや洗剤などで本製品を拭かないでください。変色や変形破損や故障の原因となることがあります。汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
●通信中にパソコンの電源をオフにすると通信ができなくなり、データが破損する可能性があります。重要なデータは送信先のデータと元のデータを比較チェックしてください。

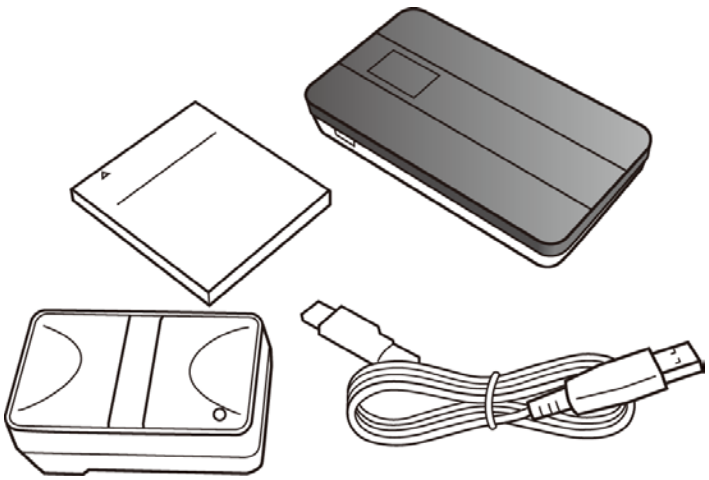
ご利用にあたっての制限事項

●本製品は日本国内でのご利用を前提としています。海外でのご利用はできません。
●WiMAXのサービスエリア外ではご使用になれません。
●サービスエリア内でも、電波が伝わりにくい場所（屋内、車内、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では通信できなかったり、通信品質が低下する場合があります。　また、高層ビル、高層マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
●WiMAXの通信品質は、家具の位置や建物の構造、使用者の移動速度など様々な要素によって大きく変動します。
●電波状態が一定以上悪化すると通信が途切れることがあります。ただし、電波状態が良好な場所でも場合によっては通信が途切れる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
●本製品は高度な認証・暗号化技術を用いた安全な通信が可能ですが、電波を利用する性質上、第三者に通信を傍受される可能性があります。お客様本人の判断と責任において、使われているパソコンのセキュリティを設定することを強くお奨めします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビの受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

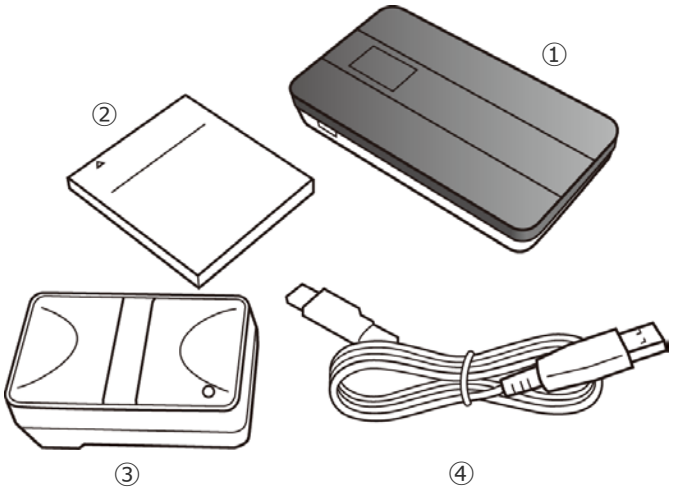
1. 製品の準備をします



Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

1.1 付属品を確認します

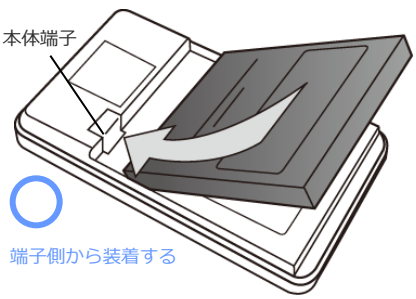
下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。万一、不足や破損がある場合は保証書記載のお買い上げ店か、お客様相談窓口までお知らせください。保証書も含めて付属品は大切に保管してください。

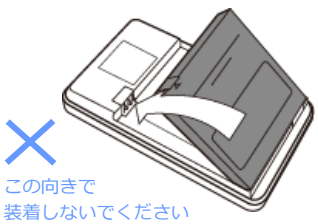


①本体	・・・1台
②バッテリー	・・・1個
③ACアダプター	・・・1個
④USB接続ケーブル	・・・1本
⑤クイックガイド	・・・1枚
⑥クイックガイド別紙	・・・1枚
⑦保証書	・・・1枚

1.2 バッテリーを取り付けます

本体バッテリーカバーを取り外し、バッテリーを装着してください。安全のためにバッテリーカバーは必ず取り付けてお使いください。バッテリーカバーは固定ツメの位置をよく確認し“ゆっくり”装着してください。無理に押し込むとバッテリーカバー固定ツメが破損します。





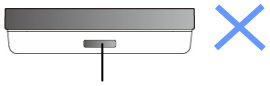
ご注意！

本体の端子とバッテリーの端子を装着する際は端子の向きが正しく合っていることを確認して装着してください。
誤った方向での装着は「本体端子の破損」につながります。

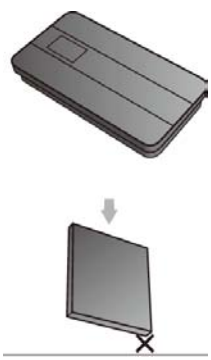
危険！

バッテリーカバーの取り外し、装着は必ずバッテリーカバー面を必ず“上側”にして行ってください。
逆側で作業を行うとバッテリーが落下し“破損”、“床などへのキズ”足などに当たった場合には思わぬ怪我につながり大変危険ですので十分ご注意ください。

必ずバッテリーカバーを“上側”にして取り外し、取り付けを行ってください。



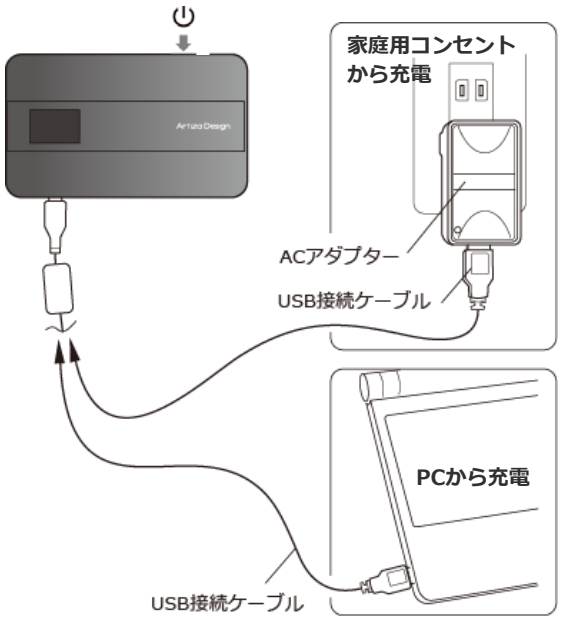
バッテリーカバーを“下側”にしての取り外しは“バッテリーの落下”につながります。絶対にお止めください。



Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

1.3 付属のUSBケーブルで充電します

ご使用になる前に、本製品に使用可能な容量まで充電された状態のバッテリーを装着する必要があります。



家庭用コンセントでの充電方法

1.本製品側マイクロUSBコネクタに、付属されているUSB接続ケーブルを接続します
2.USB接続ケーブルとACアダプターを接続します
3.ACアダプタを家庭用コンセントに接続します

パソコンのUSBインタフェースを使用した充電方法

1.本製品側マイクロUSBコネクタに、付属されているUSB接続ケーブルを接続します
2.USB接続ケーブルをパソコンのUSBコネクタに接続します

“⏻ボタンを押して”ディスプレィを確認する

本製品の動作状態はディスプレィでご確認いただけますが、省電力の為ディスプレィが常時点灯しない仕様になっております。 ⏻ボタンを押していただくことによりディスプレイの確認ができます。点灯時間は本製品のWEB管理画面で変更が可能です。
ご使用前にバッテリーを装着、ACアダプターを本体に接続して、充電を開始してもディスプレイには表示がされません。
⏻ボタンを押していただくことによりディスプレイ右上に 🔋 マークが表示され、充電されていることが確認できます。

ご注意！

初めに“20分以上の充電”をしてからお使いください

お届け時にバッテリー残量が十分でない場合がございますので“20分以上”充電をしてからお使いください。WiMAX利用登録時に、バッテリー残量が不足すると、契約が最後まで行われなくなります。

WiMAX利用登録が完了するまでの間、また登録完了後もWiMAXサービス圏外ではバッテリー残量の表示ができません。ディスプレイ右上には 🔋 マークが表示されます。電源OFFの状態もWiMAXの受信ができておりませんので、バッテリー残量の表示ができません。※WiMAXサービス圏外でのバッテリー残量表示には、バージョンアップにて対応予定です。

オススメ！

満充電まで約3時間30分
電源OFF時
ACアダプター,PC接続 共通
90%以上の充電状態まで約3時間

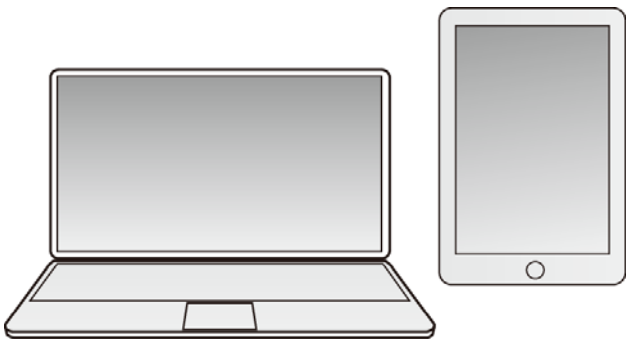
お出かけ前に“十分な充電”をお願いします

本製品の特徴的な機能“AUTO スタンバイ”は、電源ONからの起動時間を短くする為にバッテリー装着後には“微量な電力”を消費しています。ご帰宅をされたら「ACアダプターに接続しておく」、長期で使用されない場合には「バッテリーを外して保管」などしてお使いいただければ、お出かけ先でのバッテリー切れの心配を軽減できます。

本製品を快適にお使いをいただく為に「早めの充電」をお薦めします。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

2. パソコンの準備をします



Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

パソコンの設定について

推奨動作環境
お使いのパソコンが本製品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

1.下記のいずれかのOSが正しく動作すること

Windows XP（Service Pack 3） 日本語版（32ビット（x86）版のみ）
Windows Vista およびWindows 7 日本語版（32ビット（x86）または64ビット（x64）版）
Mac OS X 10.6以上のバージョン　日本語版

2.下記のいずれかのブラウザがインストールされ正常動作すること。

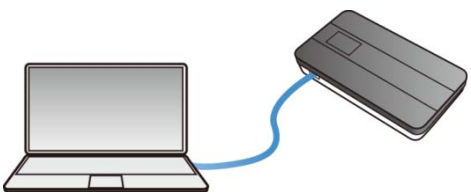
Internet Explorer v7以降のバージョン
Safari 5.0以降のバージョン
Firefox v3.0以降のバージョン※
Opera 9.6以降のバージョン※
Google Chrome 11.0以降のバージョン※
※本製品の設定において、すべての動作確認はできておりません。

3.USBポート（USB2.0推奨）が装備されていること

USB接続時のご注意

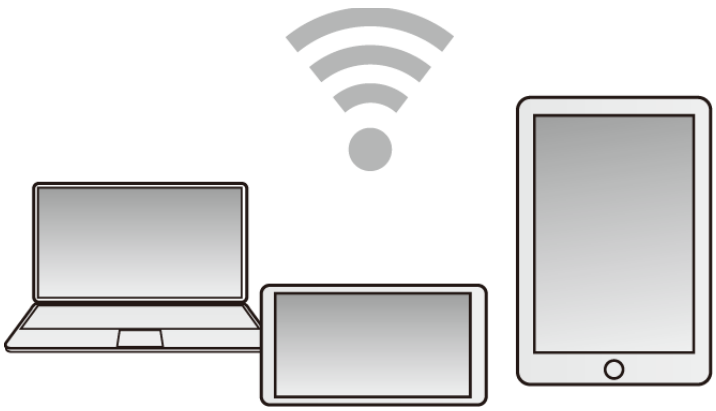
USBコネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

・本製品のUSBハブとの接続動作は保証の限りではありません。
・必ず添付のUSBケーブルをご使用ください。他のUSBケーブルを使用されますと正常に動作しない場合があります。



Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3. インターネットに接続します

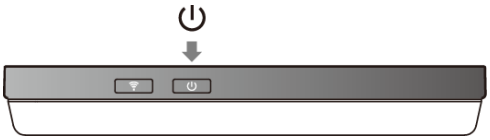


Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.1 PCとの接続

Step.1　電源を入れます

本製品のPOWERボタンを約２秒押すとブランドロゴが
ディスプレイに表示され本製品が起動し始めます



Step.2　本製品にPCを接続します

Windows Vista/Windows 7の場合

■ Wi-Fiで接続

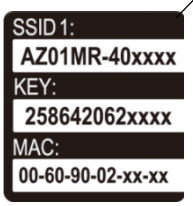
①お客様のPCのWi-FiをONにします。

②まず「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択し次に
「ネットワークとインターネット」、さらに
「ネットワークと共有センター」を選択していきます。

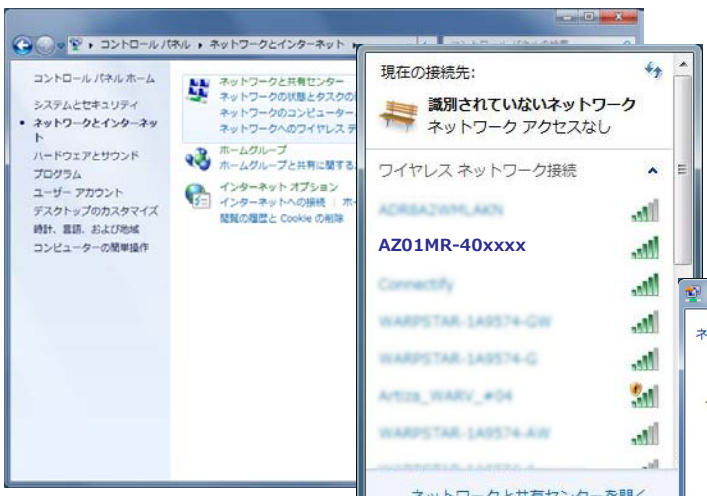
③「ネットワークに接続」を選択します。

④ネットワーク接続を設定する画面で、本製品のSSID
（各製品毎に設定されている固有番号）を選択します。

⑤「KEY」を「セキュリティ キー」に正確に入力し
「OK」ボタンをクリックします。
・「KEY」は本体ラベルに記載されている番号になります。
・「KEY」を初期値から変更している場合には 変更された番号を入力します。

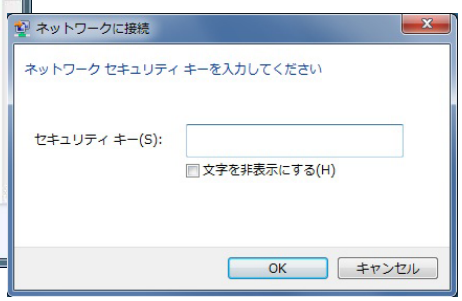


AZ01MRラベル外観



②Windows 7：ネットワークと
インターネット接続の画面

④ネットワークに接続
(接続先一覧表示)の画面



⑤ネットワークに接続(セキュリティ キー入力)の画面

ご注意！

・各Wi-Fi対応機器（音楽プレイヤーやゲーム機など）により設定方法が異なります。詳細は各製品メーカーへご確認ください。
・Wi-Fi対応機器によっては、セキュリティー設定の変更が必要です。
・工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、本体ラベルに記載されています。

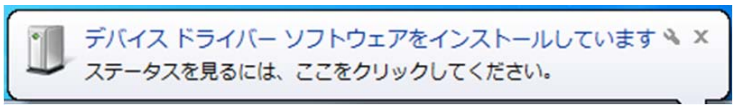
Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.1 PCとの接続

■ USBで接続（ Windows Vista/Windows 7の場合）

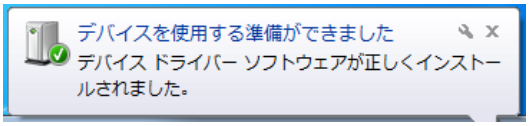
①本製品とPCを付属のUSBケーブルで接続します。

デバイスドライバーインストール中表示



②デバイスドライバーが自動的にインストールされます。
「デバイスを使用する準備ができました」と表示されたら接続完了です。

デバイスドライバーインストール完了表示

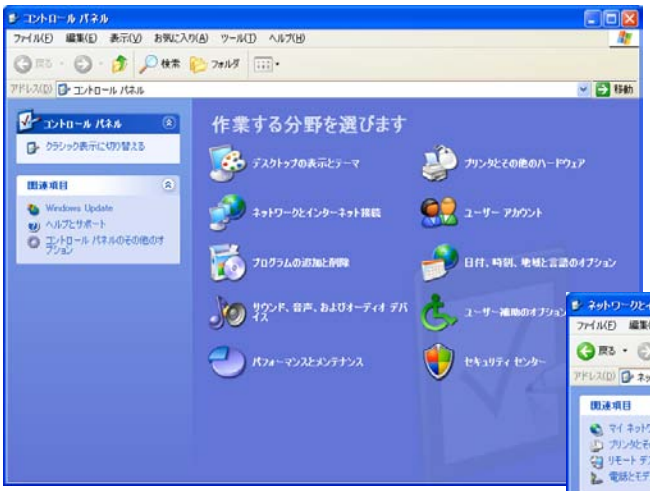


Windows XPの場合

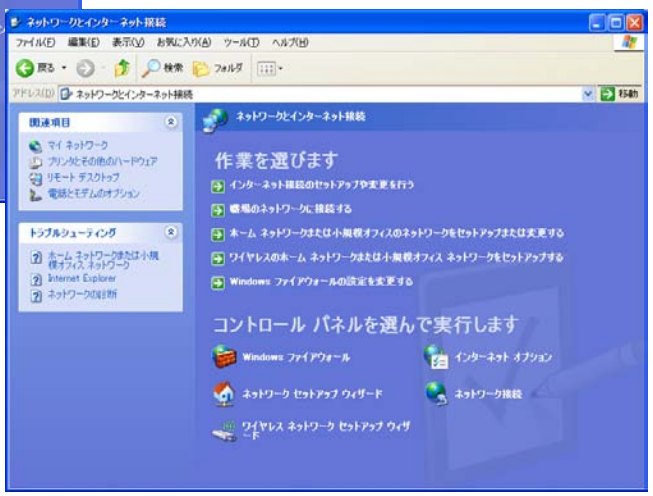
■ Wi-Fiで接続

①お客様のPCのWi-FiをONにします。

②「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択します。
「ネットワークとインターネット接続」を選択します。さらに「ネットワーク接続」を選択していきます。



Windows XP：ネットワークとインターネット接続の画面



Windows XP：ネットワーク接続の画面

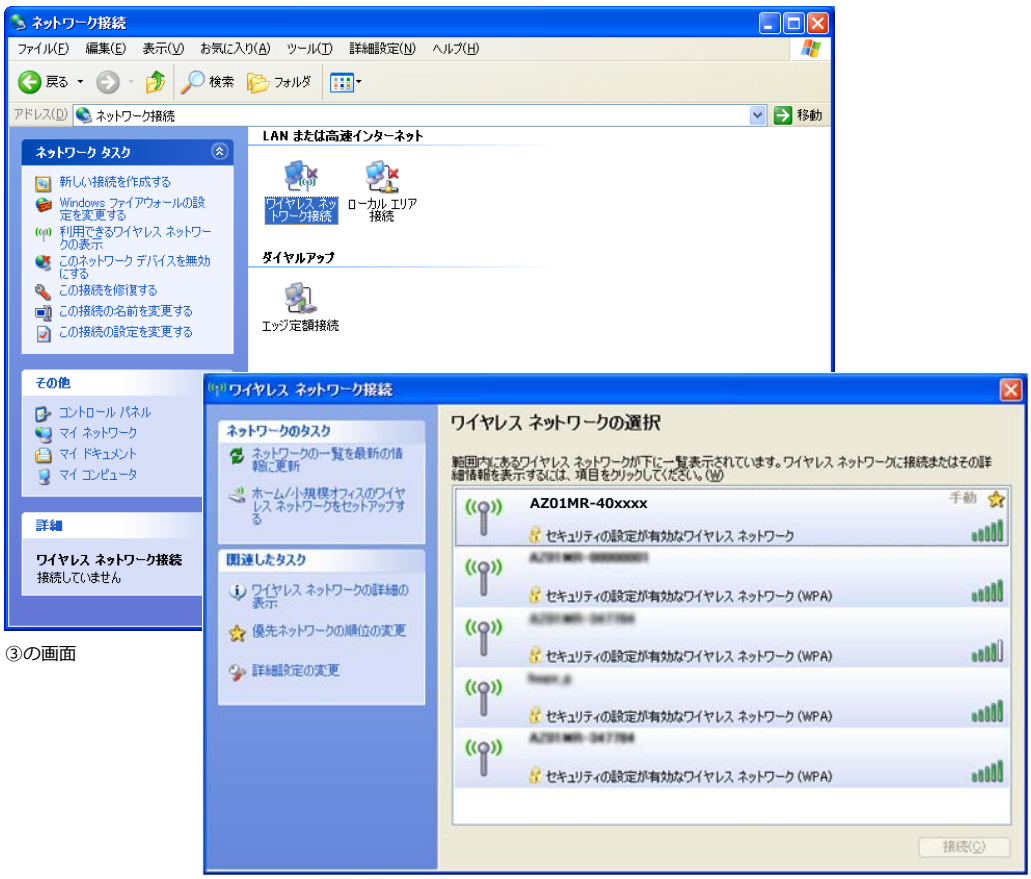
Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.1 PCとの接続

③左側のネットワークタスクの「利用できるワイヤレスネットワーク　の表示」を選択するか
「ワイヤレスネットワーク接続」を選択します。

④表示されたワイヤレスネットワーク接続で、本製品のSSID （各製品毎に設定されている固有番号）
を選択します。

⑤「KEY」を「ネットワーク キー」に正確に入力し
「OK」ボタンをクリックします。
・「KEY」は本体ラベルに記載されている番号になります。
・「KEY」を初期値から変更している場合には 変更された番号を入力します。



③の画面

④ネットワークに接続
(接続先一覧表示)の画面

⑤ネットワークに接続(pass入力)の画面

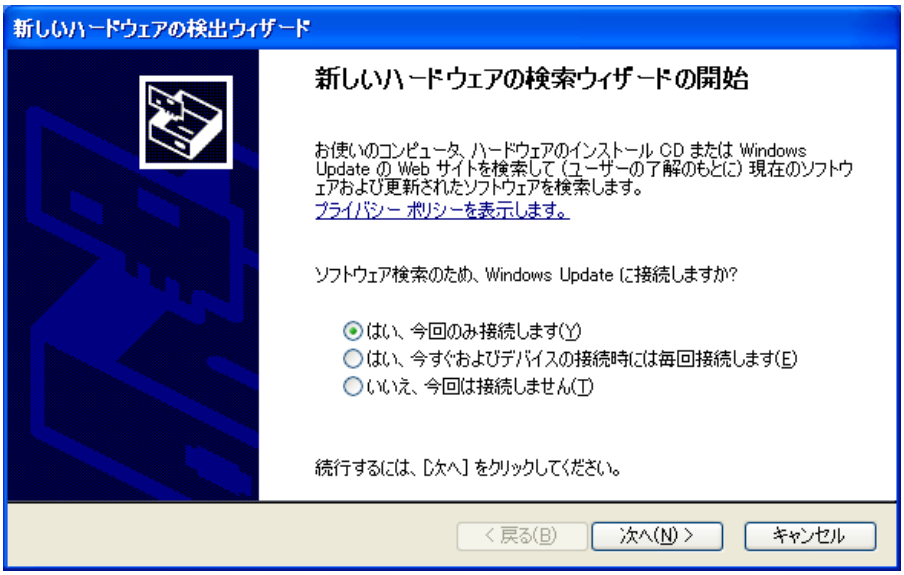
Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.1 PCとの接続

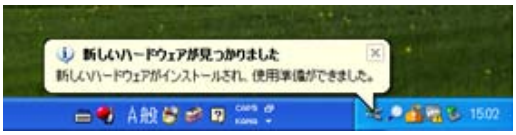
■ USBで接続（ Windows XPの場合）

①本製品とPCを付属のUSBケーブルで接続します。

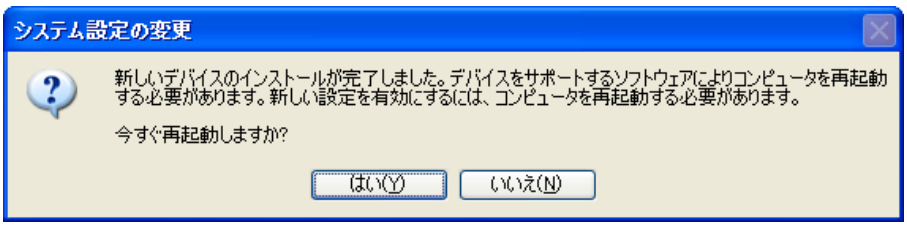
②下記「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、[キャンセル]ボタンを押下して中止してください。



その後、下記通りドライバが自動的にインストールされます。
「新しいハードウェアが見つかりました」というバルーンが表示されます。



しばらくすると、「新しいハードウェアがインストールされ、仕様準備ができました。」となり
再起動を促すメッセージボックスが表示されますので、[はい]ボタンを押下し再起動してください。

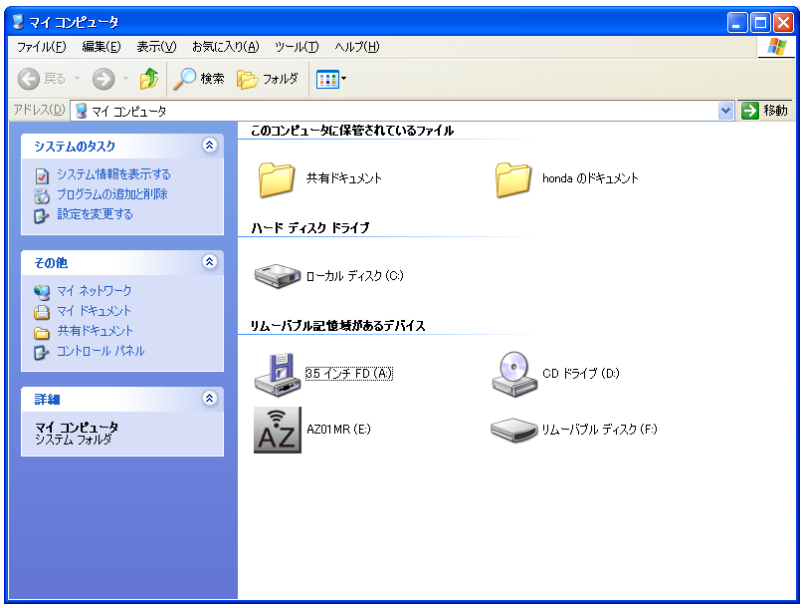


Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

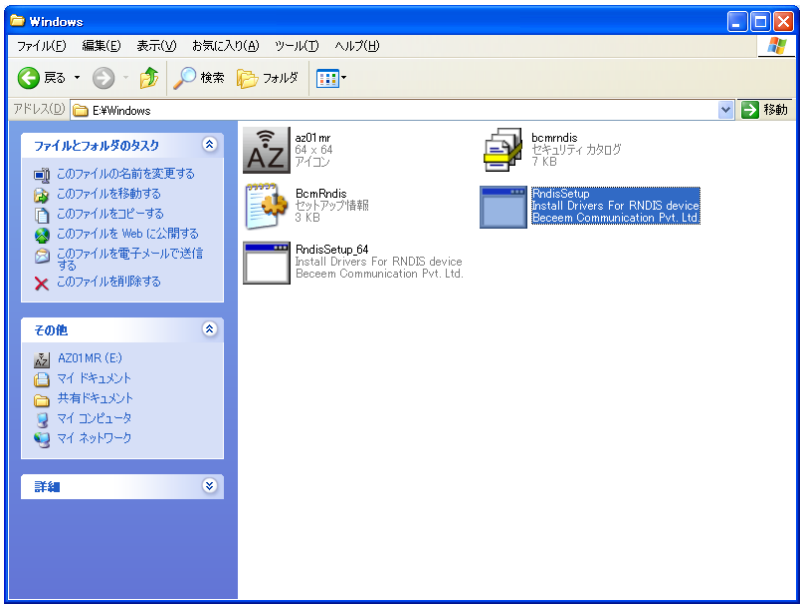
3.1 PCとの接続

自動的にインストールされない場合、下記手順に従ってドライバをインストールしてください。

①マイコンピュータを開く



②AZ01MRと書かれフォルダをダブルクリックしさらにWindowsフォルダを開く



③RndisSetupをダブルクリックします

④再起動を行います。

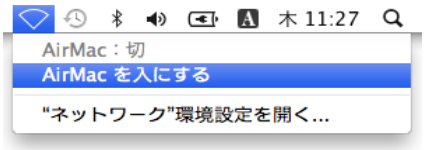
Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.1 PCとの接続

Mac OS X の場合

■ **Wi-Fiで接続**

①AirMacが無効となっている場合は有効にしてください。
（既に有効となっている場合はこの操作は不要です）



②メニューバー左上のAirMacアイコンをクリックし
「AirMacを入りにする」を選択してください。

③利用可能なネットワークが表示されます。
本製品のSSID（各製品毎に設定されている固有番を号）選択します。

④「KEY」を「パスワード」に正確に入力し
「OK」ボタンをクリックします。
・「KEY」は本体ラベルに記載されている番号になります。
・「KEY」を初期値から変更している場合には
変更された番号を入力します。

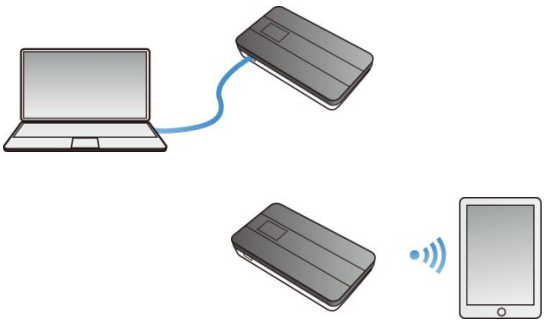
Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.1 PCとの接続

Step.3　インターネットに接続する準備をします

●本製品のWEB管理画面に接続します

Web管理画面では、WiMAXサービス回線の契約手続きおよび各種設定項目の変更ができます。



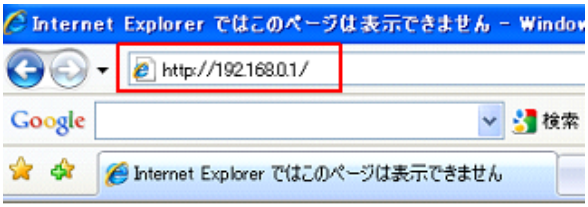
①パソコンと本製品をWi-FiまたはUSBにて接続します。

②Webブラウザを起動します。

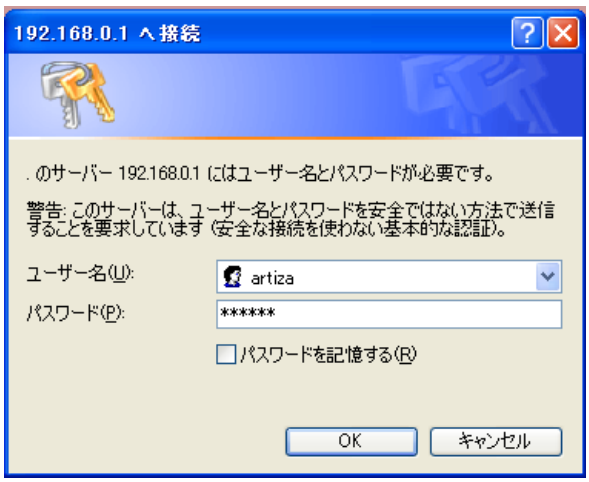
③アドレスバーに「**http://192.168.0.1**」と入力します。

④ログインダイアログが表示されたら以下のユーザー名
パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。
・ユーザー名：**artiza**
・パスワード：**design**
※ユーザー名、パスワードは初期値設定となります。

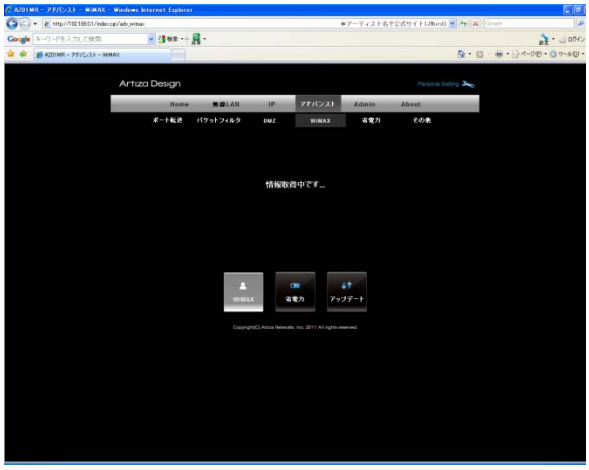
⑤AZ01MRの管理画面が表示されればログイン完了です。



アドレスバーに「http://192.168.0.1」と入力



ユーザー名、パスワード入力画面



AZ01MRの管理画面

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.1 PCとの接続

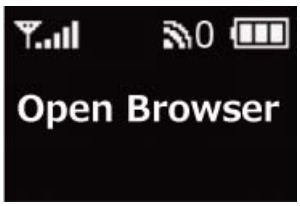
Step.4 WiMAXサービス回線契約を行う

ご購入後、機器をインターネットに接続するためには、機器の回線契約（アクティベーション）が必要です。
WiMAXサービスエリアであれば、その場で回線契約を行うことが可能です。

●WiMAXに接続します

WiMAXサービスエリア内で機器の電源を入れ、しばらく待つとディスプレイに**「Open Browser」**と表示されます。
待っても表示がされない場合は、**WiMAX電波受信レベルアイコン**で電波が受信できていることを確認します。
電波が受信できていない場合には受信可能な場所に移動してください。

WiMAX圏外エリアではディスプレイに**Not Activated**（未契約状態）が表示されます。



ご注意！

・WiMAXサービス回線契約（アクティベーション）を行っていないまたは圏外である場合はインターネットに接続することができません。
・WiMAXサービスの契約、解除、サービスエリアといった詳細についてはWiMAXサービス事業者にお問い合わせください。

●ここでは一例として本製品のWeb管理画面からの「WiMAX回線契約方法」を記載いたします

①Web管理画面にてログインを行い「アドバンスト」→「WiMAX」を選択しWiMAX回線契約のページを開きます。

②「WiMAX Account activation」ボタンをクリックします。

③WiMAXポータルページへ遷移されましたら、画面案内にしたがって加入契約の手続きを行います。

本製品のWeb管理画面：WiMAX回線契約のページの画面

ご注意！

・WiMAX回線契約が完了するまでは、絶対に本製品の電源をOFFにしたりパソコンの電源をOFFにしないでください。
・他のネットワークデバイスを使用していると、WiMAXサービスの契約ができないことがあります。WiMAXサービス以外の通信は切断して手続きしてください。
・電波が弱い場所では、WiMAXサービスとの契約ができないことがあります。電波状況が良好な場所でサインアップ手続きを行ってください。
・WiMAXサービスの回線契約は、製品本体が充電された状態で行ってください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.1 PCとの接続

Step.5　インターネットに接続します

WiMAXポータルページでの手続きを行うと、本体のディスプレイに「Activated」と表示され、自動的に再起動します。
以上でアクティベーションは完了です。

再起動後、ACT アイコンが表示されれば、インターネットに接続することができます。

●インターネットに接続できることが確認できれば接続は完了です

本製品のWeb管理画面：WiMAX回線契約済の画面

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.2 無線LAN（Wi-Fi）内蔵のゲーム機器から接続する

本製品にWi-Fi内蔵のゲーム機を接続することができます。ラベルに記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。
設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。

●ゲーム機の説明書にしたがって内蔵無線を有効にしたら、本製品のネットワーク名（SSID）を選択して接続し本体ラベルに記載されている「KEY」を入力してください

ラベルは、本製品裏面に貼付しています。
工場出荷時のWi-Fiセキュリティ方式はWPA-PSK（TKIP）です。このセキュリティ方式に対応していないゲーム機を接続する場合は、あらかじめ本体のWi-Fiセキュリティ方式の設定変更を行ってください。

AZ01MRラベル外観

ご注意！

・設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」「パスフレーズ」、「パスワード」とは、「KEY」のことです。
・「KEY」を入力する際、大文字（ABCDEF）はシフトキーを押しながら入力します。
・大文字（ABCDEF）を小文字（abcdef）で入力すると通信できませんので、ご注意ください。

●接続できるゲーム機

・Wii
・ニンテンドーDS（ニンテンドーDS Lite含む）
・ニンテンドーDSi（ニンテンドーDSi LL含む）
・ニンテンドー3DS
・Play Station 3
・PSP（プレイステーション・ポータブル）
・Xbox 360

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3.3 無線LAN（Wi-Fi）でiPhone/iPod touch/iPadから接続する

本製品にWi-FiでiPhone/iPod touch/iPadを接続することができます。
Wi-Fi設定ラベルに記載されている無線設定をiPhone/iPod touch/iPad側に設定してください。

①「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする。

②設定メニューの「Wi-Fi」をタップする。

③「Wi-Fi」ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする。

④周囲のWi-Fiアクセスポイントの一覧が表示されるので、事前に確認したネットワーク（SSID）
をタップする。

⑤「パスワード」に事前に確認した暗号化キーを入力し、「Join」ボタンをタップする。

⑥設定が完了し、画面上部のステータスバーにWi-Fiアイコンが表示される。

ラベルは、本製品裏面に貼付しています。

AZ01MRラベル外観

ご注意！

・本製品にMACアドレスフィルタリングを設定しているときは、いったん解除してから接続してください。
接続が完了したあとに、iPhone/iPod touch/iPadのMACアドレスを登録して有効にしてください。
・設定手順は、iPhone/iPod touch/iPadのOSバージョンにより変更される場合があります。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4. WEB管理画面の使い方

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

Web設定画面の説明

Web管理画面の構成は、下記表のようになります。

メニュー	サブメニュー	説明
Home	–	WiMAXの接続状態、無線LANの接続状態を表示します
無線LAN	基本設定	無線LANの有効・無効、チャンネル、SSID、セキュリティなどを設定します
	拡張設定	MACアドレスでのアクセス制御を設定します
IP	–	IPアドレス、ネットワークマスク、DHCPサーバを設定します
アドバンスト	ポート転送	インターネットにサーバを公開する場合に設定します
	パケットフィルタ	送信パケットのフィルタを行う場合に設定します
	DMZ	インターネットにサーバを公開する場合に設定します
	WiMAX	WiMAXの契約情報を表示します
	省電力	省電力の設定をします
	その他	UPnPの有効・無効を設定します
Admin	アップデート	ソフトウェアのアップデートを行います
	管理者	管理者の名前、パスワードを設定します
	再起動	再起動を行います
	その他	言語の設定を行います
About	–	MACアドレス、ソフトウェアバージョンを表示します

また、全画面で表示されるショートカットアイコンをクリックした時の動作は下記表のとおりです。

ショートカットアイコン	動作
	[アドバンスト]-[WiMAX] 画面に遷移します
	[アドバンスト]-[省電力] 画面に遷移します
	[管理]-[アップデート] 画面に遷移します

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.1 Home（ルータ情報）

AZ01MRのWiMAX接続状態、Wi-Fi接続状態を表示します。

AZ01MRのHOME画面

項目	詳細項目	説明
WiMAX 接続状態	WiMAX接続状態	WiMAXの接続状態を表示します。
	WAN IPアドレス	WAN側(WiMAX)に割り当てられたIPアドレスを表示します。
	プライマリDNS	WAN側(WiMAX)に割り当てられたプライマリDNSアドレスを表示します。
	セカンダリDNS	WAN側(WiMAX)に割り当てられたセカンダリDNSアドレスを表示します。

項目	詳細項目	説明
Wi-Fi 接続状態	SSID1	SSID1を表示します。
	チャンネル	使用しているチャンネルを表示します。
	セキュリティ	セキュリティ設定を表示します。
	接続クライアント数	SSID1に接続しているクライアント数を表示します。

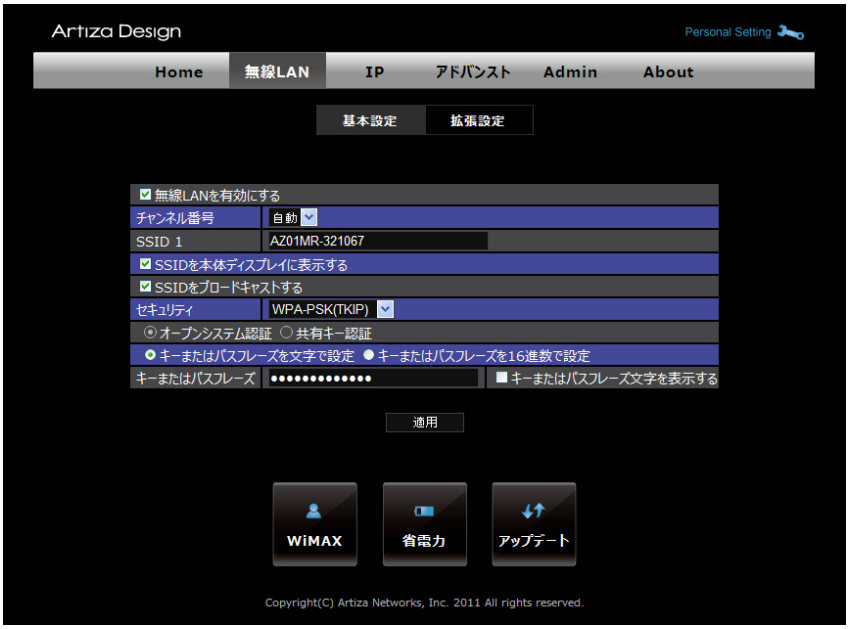
Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.2 無線LAN（ワイヤレスネットワーク設定）

無線LAN（Wi-Fi）を管理するためのメニューです。

基本設定

Wi-Fiの有効・無効、チャンネル番号、SSID1、SSIDブロードキャスト、セキュリティなどを設定します。



AZ01MRのWi-Fi（基本設定）設定画面

ご注意！

※工場出荷時のSSID1は本製品裏面のバッテリーカバーを外したバッテリー収納部の上に貼付しています。

※大文字（ABCDEF）を小文字（abcdef）で入力すると通信できませんので、ご注意ください。

基本設定ページの詳細情報は次の通りです。

項目	説明
Wi-Fi有効設定	Wi-Fiの（有効／無効）を設定します。
チャンネル番号	Wi-Fiで使用するチャンネル番号を設定（自動／1～13）します。 自動を選択すると、1チャンネルを使用します。
SSID1	SSID1を設定します。 英数字「．」「＿」「－」の半角を組み合わせた32文字まで設定可能です。
SSIDの本体ディスプレイ表示有効設定	SSID1の本体ディスプレイ表示の（有効／無効）を設定します。
SSIDブロードキャストの有効設定	SSID1のブロードキャスト（有効／無効）を設定します。
セキュリティ	SSID1のセキュリティを設定します。 なし、WEP(64bit)、WEP(128bit)、WPA-PSK(TKIP)、WPA2-PSK(AES)から選択します。
オープンシステム／共有キー	セキュリティがWEP(64bit)またはWEP(128bit)の場合 オープンシステム認証、共有キー認証を選択します。
キーまたはパスフレーズの設定種別	キーまたはパスフレーズの設定種別（文字／16進）を選択します。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.2 無線LAN（ワイヤレスネットワーク設定）

基本設定ページの詳細情報（前頁つづき）

<table>
<tr><td>キーまたはパスフレーズ</td><td>キーまたはパスフレーズを設定します。
文字設定の場合、英数字 「．」 「＿」 「-」 の半角文字を設定可能です。
また16進設定の場合0～9,A,B,C,D,E,Fの半角文字を設定可能です。
各セキュリティー設定と設定可能最大文字数は下記となります。
<table>
<tr><th rowspan="2">セキュリティ</th><th colspan="2">設定可能最大文字数</th></tr>
<tr><th>文字</th><th>16進</th></tr>
<tr><td>WEP64</td><td>5</td><td>10</td></tr>
<tr><td>WEP128</td><td>13</td><td>26</td></tr>
<tr><td>WPA/WPA2</td><td>8～63</td><td>6</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>キーまたはパスフレーズ
文字を表示する</td><td>キーまたはパスフレーズ表示（有効／無効）を選択します。</td></tr>
</table>

拡張設定

MACアドレスによるアクセス制御の設定を行います。アクセス制御で「登録したMACアドレスからのアクセスを拒否」を選択した場合、アクセスを拒否したい端末のMACアドレスを登録します。登録していない端末からのアクセスは許可されます。
アクセス制御で「登録したMACアドレスからのアクセスを許可」を選択した場合、アクセスを許可したい端末のMACアドレスを登録します。登録していない端末からのアクセスは拒否されます。この場合、1つもMACアドレスを登録しない設定はできません。全ての端末の無線LANアクセスを拒否したい場合には、無線LANを無効にしてください。

AZ01MRの無線LAN
（拡張設定）設定画面

拡張設定ページの詳細情報は次の通りです。

項目	説明
アクセス制御	アクセス制御方法を設定します。 「登録したMACアドレスからのアクセスを拒否」「登録したMACアドレスからのアクセスを許可」から選択します。
MACアドレス	アクセス制御を行う端末のMACアドレスを登録します。
許可・拒否	アクセス制御を行う端末の（拒否／許可）を表示します。 アクセス制御の設定により自動的に変更されます。
コメント	設定項目に対するコメントを記入（64文字以内）します。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.3 IP設定

本体のLAN側のIPアドレス設定のためのメニューです。

IP設定
AZ01MRのLAN側のIPアドレス、ネットワークマスク、DHCP開始アドレス、DHCP配布アドレス数を設定します。

AZ01MRのIP設定画面

IP設定ページの詳細情報は次の通りです。設定して「適用」ボタンをクリックします

項目	説明
LAN IPアドレス	LAN側のIPアドレスを設定します。
ネットワークマスク	LAN側のネットワークマスクを設定します。
DHCPサーバを有効にする	LAN側（USB接続またはWi-Fi接続）でのDHCPサーバの（有効／無効）を設定します。
DHCP開始アドレス	DHCPサーバの開始アドレスを設定します。
DHCP配布アドレス数	DHCPサーバから配布可能なアドレス数を設定します。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.4 アドバンスト

ポート転送

通常、LAN側に接続された機器にインターネットから直接アクセスすることはできません。ポート転送では、インターネットからAZ01MRのWAN側IPアドレス宛に送信されたパケットを、USBまたはWi-Fiで接続された機器（特定のIPアドレス）へ転送することができます。メールサーバ、ウェブサーバなどをインターネットに公開する場合、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションを使用する場合に使用します。
10個までのポート転送の設定が可能です。

AZ01MRのポート転送設定画面

ポート転送の設定画面に表示される項目は次の通りです。値を指定し[適用]ボタンをクリックします。

項目	説明
ポート番号	送信ポート元のポート番号を設定します。
プロトコル	ポート転送を行うプロトコルを選択します。 TCP、UDP、TCP/UDPから選択します。
転送先IPアドレス	ポート転送の転送先IPアドレスを設定します。
転送先ポート番号	ポート転送の転送先ポート番号を設定します。

設定例：ウェブサーバを公開する場合は、下記設定となります。

ポート番号	プロトコル	転送先IPアドレス	転送先ポート番号
80	TCP	192.168.0.100	80

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.4 アドバンスト

ウェブサーバが動作するLAN側機器（パソコン）のIPアドレスは、自動的に取得するのではなく固定のIPアドレスを設定することをお勧めします。固定のIPアドレスは、IP設定で設定したDHCPサーバで配布するIPアドレスの範囲外のアドレスを設定してください

LAN側機器（パソコン）の設定例

IPアドレス	192.168.0.100	AZ01MRは、初期設定では 192.68.0.2～192.168.0.11 の範囲のIPアドレスを配布します。 この範囲外のIPアドレスを指定します。
サブネットマスク	255.255.255.0	AZ01MRのネットワークマスクを指定します。
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	AZ01MRのLAN IPアドレスを指定します。
DNSサーバ	192.168.0.1	AZ01MRのLAN IPアドレスを指定します。

パケットフィルタ設定
パケットフィルタの設定を行います。10個までのフィルタ設定が可能です。パケットフィルタは宛先／送信元IPアドレスやポート番号で、パケットの通過を制限する機能です。

AZ01MRのパケットフィルタ設定画面

パケットフィルタの設定画面に表示される項目は次の通りです。値を指定し[適用]ボタンをクリックします

項目	説明
デフォルトポリシー	［登録されたエントリのパケットを許可］／［登録されたエントリのパケットを拒否］のいずれかを選択します。
送信元IPアドレス	パケットフィルタを行う送信元IPアドレスを設定します。LAN側機器のIPアドレスを設定します。空欄の場合、任意のIPアドレスとなります。
送信元ポート番号	パケットフィルタを行う送信元ポート番号を設定します。空欄の場合、任意のポート番号となります。
宛先IPアドレス	パケットフィルタを行う宛先IPアドレスを設定します。通常はグローバルIPアドレスを設定します。空欄の場合、任意のIPアドレスとなります。
宛先ポート番号	パケットフィルタを行う宛先ポート番号を設定します。空欄の場合、任意のポート番号となります。
プロトコル	パケットフィルタを行うプロトコルを設定します。 TCP、UDP、TCP/UDPから選択します。
許可・拒否	パケットフィルタを行うパケットの（拒否／許可）を表示します。 デフォルトポリシーの設定により自動的に変更されます。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.4 アドバンスト

DMZ設定

DMZ設定を行います。DMZは、インターネットからAZ01MRのWAN側IPアドレス宛に送信されたパケットを、USBまたはWi-Fiで接続された機器（特定のIPアドレス）へ転送する機能です。サーバ、ウェブサーバなどに外部から接続する場合に使用します。

AZ01MRのDMZ設定画面

DMZの設定画面に表示される項目は次の通りです。値を指定し[適用]ボタンをクリックします。

項目	説明
転送先IPアドレス	転送するIPアドレスを設定します。USBまたはWi-Fiで接続されたLAN側機器のIPアドレスを指定します。

転送するLAN側機器（パソコン）のIPアドレスは、自動的に取得するのではなく固定のIPアドレスを設定することをお勧めします。固定のIPアドレスは、IP設定で設定したDHCPサーバで配布するIPアドレスの範囲外のアドレスを設定してください。

LAN側機器（パソコン）の設定例

IPアドレス	192.168.0.100	AZ01MRは、初期設定では 192.68.0.2～192.168.0.11 の範囲のIPアドレスを配布します。 この範囲外のIPアドレスを指定します。
サブネットマスク	255.255.255.0	AZ01MRのネットワークマスクを指定します。
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	AZ01MRのLAN IPアドレスを指定します。
DNSサーバ	192.168.0.1	AZ01MRのLAN IPアドレスを指定します。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.4 アドバンスト

WiMAX設定

WiMAXサービスの契約状態が表示されます。

省電力設定

本体画面の点灯時間、自動スタンバイの設定を行います。

ご注意！

※自動スタンバイ状態とは、本製品の定義で、電源OFFの状態になります。

省電力設定画面に表示される項目は次の通りです。値を指定し[適用]ボタンをクリックします

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>画面点灯時間</td><td>画面表示時間、バックライトの点灯時間が以下のようになります。
<table>
<tr><th></th><th>バックライト点灯時間</th><th>画面表示時間</th></tr>
<tr><td>短い</td><td>5秒</td><td>10秒</td></tr>
<tr><td>中くらい</td><td>10秒</td><td>15秒</td></tr>
<tr><td>長い</td><td>20秒</td><td>25秒</td></tr>
<tr><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>通信がなければ自動的に電源を切る</td><td>自動スタンバイの（有効／無効）、自動スタンバイまでの時間を設定します。
設定した時間（分）通信がなければ、自動的にスタンバイ状態になります。</td></tr>
</table>

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.4 アドバンスト

その他設定

UPnPの使用可否を設定します。

UPnP機能を使うとWindows Live(TM) MessengerやWindows Messengerで音声チャットやビデオチャットなどが使用できるようになります。

AZ01MRのその他設定画面

ご注意！

・ファイアウォールが動作中のパソコンでは、Windows Live、Messengerなどのソフトウェアが動作しない場合があります。UPnP機能を必要とするソフトウェアをご利用になる場合は、ファイアウォールを停止させるか、設定を変更してください。ファイアウォールの操作方法については、ソフトウェアの取扱説明書などをご覧ください。

・Windows XP Service Pack3でご利用の場合は、Windowsファイアウォールが「UPnP フレームワーク」のブロックを解除する設定になっている必要があります。確認方法や設定の詳細はパソコンのサポート窓口にお問い合わせください。

・UPnP機能は、Windows 7、Windows Vista、Windows XPのパソコンでご利用いただけます。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.5 Admin（アドミニストレーション）

本体ソフトウェアの更新、ユーザー名／パスワード、本体の再起動、Web管理画面の言語を設定するメニューです。

アップデート
ソフトウェア更新は、本製品のWeb管理画面から行えます。更新方法は下記の方法があります。

AZ01MRのアップデート設定画面

ご注意！

お使いのソフトウェアが最新の状態ではアップデートを行いません。そのままの状態でご使用ください。

ご注意！

WiMAXサービス契約（アクティベーション）を行っていない、または圏外である場合はインターネットに接続することができません。

●インターネットから最新のソフトウェアに更新する

①パソコンと本製品のWi-Fi接続またはUSB接続を行います。
②Web管理画面にログインします。
③[Admin]－［アップデート］を選択します。
④[実行]ボタンを選択します。

●ファイルを指定して更新を実行する

①パソコンと本製品のWi-Fi接続またはUSB接続を行います。
②弊社ホームページのサポートページ（http://www.artizadesign.com/support.html）
から最新ソフトウェアをダウンロードします。
③Web設定画面にログインします。
④[Admin]－［アップデート］を選択します。
⑤［プログラムファイル]から、［参照］ボタンをクリックします。
⑥手順②でダウンロードしたソフトウェアのファイルを選択し、[実行]ボタンをクリックします。

アップデート中のご注意！

・アップデートが完了するまでに数分かかります。
・アップデートが完了すると自動的に再起動します。
・アップデート実施時は、本製品をACアダプター、又は起動中のパソコンに接続した状態で行ってください。
・アップデート中は、絶対に本製品の電源をOFFにしたり、接続中のパソコンの電源をOFFにしないでください。
故障の原因となります。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

4.5 Admin（アドミニストレーション）

管理者設定
Web設定画面の管理者名、パスワードを設定します。

工場出荷時および本体リセット時は下記の値がデフォルトで設定されます。

管理者名：artiza　　パスワード：design

AZ01MRの管理者設定画面

再起動
本体を再起動させるための設定画面です。本画面で［再起動］ボタンを押すことにより装置が再起動します。再起動後本体が立ち上がるまでの時間はおよそ「40秒」です。

AZ01MRの再起動設定画面

その他
Web設定画面の言語を選択します。（日本語）
初期バージョンでは日本語のみの設定となります。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

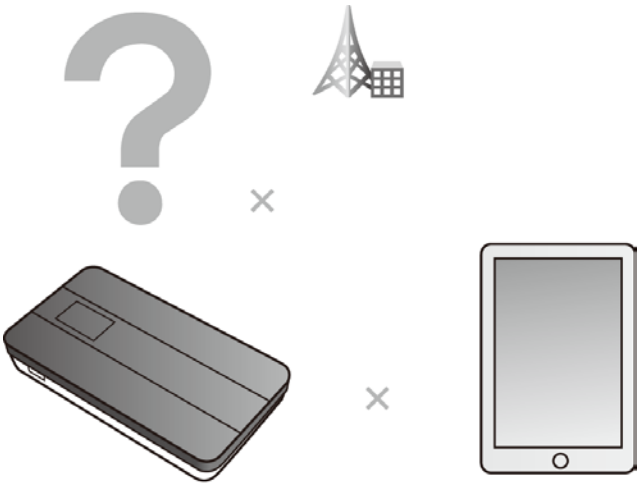
4.6 About （本体情報）

AZ01MR本体のモデル名、WAN MACアドレス、LAN MACアドレス、ソフトウェアバージョンを表示します。

AZ01MRの本体情報画面

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

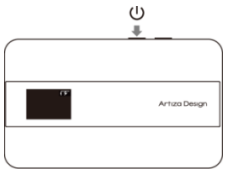
5. 故障かな？と思ったら



Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

5.1 インターネット接続ができない

1.本製品の電源を確認します。



ディスプレイが点灯していなければ、電源ボタンを押します。

2.本製品のWiMAX接続アイコン ACT の点灯を確認します。

ご利用場所がWiMAXサービスエリア内か確認します。WiMAXサービス事業者とのWiMAX回線契約を確認します。WiMAX接続アイコンが表示されないときは、WiMAXサービス事業者との回線契約が必要です。またはWiMAX回線契約が解除された場合はメッセージ表示されます。WiMAX回線契約を行ってください。

3.本製品の電源を一旦OFFにした後もう一度、電源をONにして本製品を起動させます。

4.上記の内容をすべて実行してもWiMAX接続アイコンが点灯しない場合には
本製品を工場出荷時の状態にリセットしてください。
※リセット方法は［5.6 本製品の初期化方法について］を参照してください。

5.Wi-Fi接続アイコンを確認し、本製品にパソコンやゲーム機などのWi-Fi機器が接続されている
ことを確認します。
※各Wi-Fi対応機器の使用方法は、各Wi-Fi対応機器の取扱説明書を参照してください。

6.周囲で、同一のSSIDが設定されていないことを確認します。

7.上記の内容をすべて確認しても解決しない場合は、保証書記載のお買い上げ店か
お客様相談窓口までお知らせください。

5.2 Wi-Fi対応機器が接続出来ない

1.本製品のディスプレイにWi-Fi状態アイコン が点灯しているかご確認ください。
点灯していない場合には、電源がONになっている状態で ボタンを約2秒押してください。

2.Wi-Fi対応機器側（パソコンやゲーム機など）の状態をご確認ください

3.本製品の接続可能なWi-Fi対応機器の台数は推奨5台です。ディスプレイのクライアント接続数の表示を
ご確認ください。
※Wi-Fi対応機器によっては、セキュリティ設定を変更していただく必要があります。
本製品とお使いのWi-Fi機器のセキュリティ設定をご確認ください。

5.3 電源が入らない

1.バッテリーが正しく装着されていることをご確認ください。

2.バッテリーを充電してからお使いください。

3.充電しても電源が入らないかすぐに電池残量がなくなる場合は
バッテリーの寿命の可能性があります。
新しいバッテリーをご用意ください。

※純正バッテリーのご購入先は弊社ホームページ（http://www.artizadesign.com/）をご覧ください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

5.4 回線加入の時、サインアップ中に問題が発生した場合

サインアップ中に問題が発生した場合は以下の方法を参照してください。

症状	対処方法
回線契約ページで“WiMAX Account activation”ボタンを押したが、“接続”ボタンが有効にならない場合	WiMAX電波受信レベルアイコン表示が”×”となっている場合、圏外エリアで電波が弱い可能性があります。WiMAX電波受信レベルアイコンで受信レベルが良好になる電波状態の良い場所に移動した後、接続を試してください。
回線契約ページで「(P001/P004/P005)サインアップに失敗しました」とのメッセージが表示される場合	WiMAX電波受信レベルアイコンで受信レベルが良好にも関わらず、繰り返し当該エラーが発生する場合は、サーバーの一時的な過負荷によってエラーが発生していることがあります。時間をおいて、本製品を再起動してください。継続して症状に改善が見られない場合は、お客様サポートセンターまでお問合せください。
回線契約ページで「(P002)サインアップに失敗しました」とのメッセージが表示される場合	WiMAX電波受信レベルアイコンで受信レベルが良好にも関わらず、繰り返し当該エラーが発生する場合は、ネットワークに関するエラーである可能性があります。数分経過後、本製品のPOWERボタンを押し再起動後、再度お試しください。
回線契約ページで「(A001)サインアップに失敗しました」とのメッセージが表示される場合	WiMAX電波受信レベルアイコンで受信レベルが良好にも関わらず、繰り返し当該エラーが発生する場合は、本製品の設定内容がサーバーと一致していない可能性がありますので、弊社カスタマサポートまでお問い合わせください。
回線契約ページで「(エラー番号なし)サインアップに失敗しました」とエラー番号およびメッセージがない場合	WiMAX電波受信レベルアイコンで受信レベルが良好にも関わらず、繰り返し当該エラーが発生する場合は、サーバーの一時的な過負荷によってエラーが発生していることがあります。時間をおいて、本製品を再起動してください。継続して症状に改善が見られない場合は、お客様サポートセンターまでお問合せください。

5.5 その他のトラブル

●バッテリー表示アイコンの残量表示が になっている
バッテリーの残量が不足しています。ACアダプタを使用して充電してください。

●充電の際、表示パネルに何も表示されない
バッテリーが取り付けられていません。バッテリーを取り付けてください。

●バッテリーを入れても動作しない
長時間放置し、長い間充電していないバッテリーを取り付けた時に、過放電保護のために動作できない場合があります。
本体にACアダプタを接続してもバッテリー表示アイコンが点灯しない場合は、バッテリーが過放電状態となっている可能性が高いですので、USBケーブルの抜き差しを行ってバッテリー表示アイコンが点灯となるかどうか確認してください。
USBケーブルの抜き差しを数回おこなってもバッテリー表示アイコンが点灯しない場合は、弊社カスタマサポートへお問合せください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

5.5 その他のトラブル

●バッテリーでの動作時間が短い（寿命について）
満充電されている場合は、新品の場合、約6時間の利用ができます。満充電時でも大幅に動作時間が短くなった場合はバッテリーの寿命が考えられますので、バッテリーのお取り替えをお勧めいたします。時間が短い場合でも、安全性に問題はありません。またバッテリーの駆動時間は、温度の低い環境下では一時的に悪くなります。
バッテリーを保管するときは、次の事項に注意してください。
高温の環境下に放置しないでください。
満充電状態のバッテリーを放置しておくとバッテリーが劣化し、もう一度充電したときの容量が減少してしまいます。この劣化は、満充電で保管すると激しくなり、保存温度が高いほど劣化が早く進みます。

●表示パネルに何も表示されない
電源がオンになっていません。

●表示パネルが消灯して、動作が停止する
バッテリーの残量が無くなった可能性があります。充電後、動作を確認してみてください。

●Wi-Fi通信ができない
下記のような場合はWi-Fi通信ができないことがあります。

・本製品とお使いのパソコンのWi-Fi規格が一致していない場合、Wi-Fi通信ができません。お使いのパソコンのWi-Fi規格がIEEE802.11bあるいはIEEE802.11g対応であることを確認してください。

・暗号化キー、SSIDの設定が本製品とWi-Fi端末とで一致しているかを確認してください。

・お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイヤウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり通信が正常に行えない可能性があります。（ファイヤウオールなどの動きによって本製品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。）その場合には、次の手順で設定を確認してください。

①ファイヤウォールソフト側で本製品との通信に必要なポートをあけてください。
（アドレス：192.168.0.*、HTTPポート番号：80、UDPポート番号：53/68）

②上記で改善しない場合は、ファイヤウォールソフトを停止またはアンインストールしてください。
・本製品とWi-Fi端末間の電波状態が悪い場合、Wi-Fi通信ができないことがあります。電波の届く範囲までWi-Fi端末を移動させたり、本製品やWi-Fi端末の向きを変えたりして電波状態を確認してください。

・工場出荷時のWi-Fi設定、ネットワーク名（プライマリSSID）は本製品裏面のバッテリーカバーを外したバッテリー収納部の上に貼付しています。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

5.5 その他のトラブル

●使用可能状態において突然「IPアドレス192.168.xxx.xxxは、ハードウェアのアドレスが…と競合していることが検出されました」というアドレス競合に関するエラーが表示された
［OK］をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行ってIPアドレスを再取得してください。

<IPアドレスの確認>

・Windows　Vista/Windows　7の場合
①［スタート］（Windowsのロゴボタン）－［コントロールパネル］を開く。
②［ネットワークとインターネット］－［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックする。
③ 画面左側の［ネットワーク接続の管理］（ Windows　Vista）または［アダプターの設定の変更］（Windows 7）をクリックする。
④ Wi-Fi接続時は［ワイヤレスネットワーク接続］（Wi-Fi接続時）、 USB接続時は［ローカルエリア接続 X］［Remote NDIS based Internet Sharing Device #Y］の表示があるもの）（X、Yは任意の数字）を右クリックし［状態］をクリックする。
⑤ 表示されたウィンドウの［詳細］ボタンをクリックする。

・Windows XPの場合
①［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする。
②［ipconfig -all］と入力して［Enter］キーを押し、IPアドレスを確認する。
③ IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する。（XXXは0を除く任意の数字）

・Mac OS Xの場合
①［アップルメニュー］-［システム環境設定］-［ネットワーク］を開きます。
Wi-Fi接続時は［AirMac］（Wi-Fi接続時）、 USB接続時は［BCSM3...WiMAX］を選択します。
② Wi-Fi接続時は［AirMac］（Wi-Fi接続時） -［詳細］のTCP/IPタグを選択する。
USB接続時は［BCSM3...WiMAX］に表示された画面にIPアドレスが記載されております。
③ IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する。（XXXは0を除く任意の数字）

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

5.5 その他のトラブル

<IPアドレスの再取得 (コマンドプロンプト)>

・Windows Vista/Windows 7の場合
①［スタート］（Windowsのロゴボタン）－［コントロールパネル］を開く。
②［ネットワークとインターネット］－［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックする。
③ 画面左側の［ネットワーク接続の管理］（ Windows Vista）または［アダプターの設定の変更］（Windows®7）をクリックする。
④ Wi-Fi接続時は［ワイヤレスネットワーク接続］（Wi-Fi接続時）、 USB接続時は［ローカルエリア接続 X］［Remote NDIS based Internet Sharing Device #Y］の表示があるもの、（X,Yは任意の数字）を右クリックし［無効にする］をクリックする。
⑤ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする。
⑥ ④で選択したアイコンを再度右クリックし、［有効にする］をクリックする。
⑦ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする。

・Windows XPの場合
①［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする。
②［ipconfig/release］と入力して［Enter］キーを押し、IPアドレスを解放する。
③［ipconfig/renew］と入力して［Enter］キーを押し、IPアドレスを取り直す。
④ IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する。（XXXは0を除く任意の数字）

・ Mac OS Xの場合
①［アップルメニュー］-［システム環境設定］-［ネットワーク］を開きます。
Wi-Fi接続時は［AirMac］（Wi-Fi接続時）、
USB接続時は［BCSM3...WiMAX］を選択します。
② Wi-Fi接続時は［AirMac］（Wi-Fi接続時） 画面の［AirMacを切りにする］を押し
再度［AirMacを入りにする］を押す。
USB接続時は［BCSM3...WiMAX］を選択し、IPv4の構成を［切］にし、再度［DHSPサーバを使用］を押す。
③ IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する。（XXXは0を除く任意の数字）

●前回は接続できたのにインターネット接続できない
以下の場合インターネット接続できない場合があります。

・パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本製品のほうが先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。
<IPアドレスの再取得>を参照して、IPアドレスを再度取得してください。

・1Day契約などの契約期限が切れている場合があります。1Day契約など、期間を限定して契約された場合契約期限後に再度サービスを利用するときには、本製品とUSB接続できるパソコンからWiMAX通信によるネットワーク接続、またはWi-Fi接続し、WiMAX回線契約のページからサービス加入契約を完了させてください。

●接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）を忘れてしまった
本製品を初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
［5.6 本製品の初期化方法について］を参照してください。

●管理者パスワードを忘れてしまった
本製品を初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
［5.6 本製品の初期化方法について］を参照してください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

5.5 その他のトラブル

●無線状態が良好なのに速度がでない。以下の原因が考えられます。

・近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、または「チャンネル状況」には表示されない、デジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉が起こっていることが考えられます。このような場合AZ01MR Web設定を起動して［無線LAN設定］－［基本設定］の［チャンネル番号］の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから5チャンネル以上ずらす様にしてください。

・本製品とWi-Fi端末が近すぎるため電波状況が悪くなっている可能性があります。本製品とWi-Fi端末が1m以上離れていることを確認してください。

●無線状態が良好なのに通信できない
Wi-Fi端末に不正なIPアドレスが設定されている可能性があります。
以下のことを確認してください。

・＜IPアドレスの再取得＞を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。

・固定IPアドレスでお使いの場合は、本製品とWi-Fi端末に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。（例：本製品が 192.168.0.1のとき、Wi-Fi端末は192.168.0.xxx）

・IPアドレスの再取得後以下の方法でpingテストを行ってください。
[スタート] → [プログラム] →[アクセサリ] →[コマンドプロンプト]を実行して、次のようにPingテストを行います。
[ping 192.168.0.1]を実行します。
正常な場合は、[Reply from 192.168.0.1: byte=32 time=1ms TTL=64]が表示されます。
正常な表示が出ないときは、お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

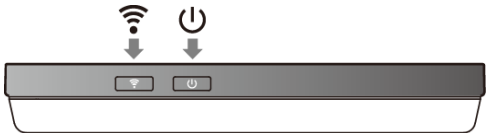
●USB接続できない。
本書17ページのUSB接続時の注意を参考にして正しい使われ方がされているかどうか確認してください。

●その他正常動作しない
設定に誤りがある場合があります。どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
［5.6 本製品の初期化方法について］を参照してください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

5.6 本製品の初期化方法について

本製品を初期化する場合は本体の電源が入っている状態でPOWERボタンとWi-Fiボタンを同時に5秒以上押してください。
初期化され工場出荷時の状態に戻ります。



ご注意！

本操作により旧バージョンのソフトウェアには戻りません。
（ソフトウェアアップデート済みの場合）

本製品の初期設定時に必要になる工場出荷時の設定一覧を下記に示します

設定項目	初期設定	備考
IPアドレス	192.168.0.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
SSID1（暗号化キー）	Wi-Fi設定ラベルに記載	Wi-Fi設定ラベルは、本製品裏面のバッテリーカバーを外したバッテリー収納部の上に貼付しています。
SSID1暗号化方式	WPA-PSK(TKIP)	
Web設定画面　アドレス	192.168.0.1	
Web設定画面　ユーザー名	artiza	
Web設定画面　パスワード名	design	

ご注意！

ご利用開始前に、WiMAXポータルサイトで
行った加入者契約は解除・解約できません。
サービス事業者へお問い合わせください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

6 AZ01MRスペック

AZ01MRスペックシート	
型番	AZ01MR
商品名	WiMAXモバイルルータ
無線仕様	
WiMAX規格	IEEE802.16e-2005
WiMAXチップ	BCSM352-BD 2
無線LAN規格	IEEE802.11b/g準拠
セキュリティ	WEP64/128bit(Open/Shared)、WPA-PSK(TKIP)、WPA2-PSK(AES) ※バージョンアップ対応予定: WPS、マルチSSID
同時接続数	5台（推奨）
本体仕様	
本体サイズ	約99.5×59.0×13.9mm（縦×横×高さ）
質量	約94ｇ（バッテリー含む）
表示ディスプレイ	有機EL モノカラー
外部インターフェース	マイクロUSB（USB2.0準拠）
電源	定格3.7V　1700mAh（付属バッテリー） ※バージョンアップ対応予定: WiMAX圏外でのバッテリー残量表示
バッテリー駆動時間	約6時間（使用環境や期間、電波状況により異なります）
バッテリー充電時間	満充電まで約3時間30分（電源OFF：ACアダプター、PC接続共通） ※90%以上の充電状態まで約3時間 ※WiMAXサービス圏外では、バッテリー残量表示ができません (バージョンアップにて対応予定)
スタンバイ時間	約100時間（使用環境や期間により異なります） ※起動時間を短くする為に、バッテリー装着後は微量な電力を消費しています。 数日間ご使用にならない場合には「ご使用前に充電していただく」か 「バッテリーを取り外しての保管」をお薦めいたします。
USB給電の可否	給電:可 / 充電:可
付属バッテリー	リチウムイオンポリマー電池（3.7V 1700mAh）
付属ACアダプター	入力：100～240Ｖ（50/60Hz）　出力：5V 600mA
対応OS／ブラウザ	
対応OS	Windows XP SP3（x86） Windows Vista（x86/x64） Windows 7（x86/x64） Mac OS X Ver10.6 ※日本語版のみに対応
対応ブラウザ	Internet Explorer 7以降　（β版は除く） Safari 5以降
標準パッケージ内容	本体、 バッテリー、 ACアダプター、 USB接続ケーブル、クイックガイド、保証書
製造元	株式会社アルチザネットワークス
その他	
Router EVolution Online	WLAN Channel Finderリリースを予定 ※アプリケーションのダウンロードで新機能追加予定 ※WLAN Channel FindeはAZ01MRの機能名称であり、KDDI研究所開発の 「無線LAN混雑度モニター」機能を実装しています。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

7 お問い合わせ

お問い合わせについて

接続ができない、上手く設定ができない場合は、本書の「5.故障かな？と思ったら」をご参照のうえ
下記の弊社サポート窓口へお問合せください。

株式会社アルチザネットワークス
〒190-0012 東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア７Ｆ

TEL　0120-052-205　受付時間：月～金　9:00～17:00　（祝祭日は除く）
MAIL　az01mr-support@artiza.co.jp
URL　http://www.artizadesign.com/

●パソコンの設定や操作方法などについてのお問合せは
各パソコンメーカーのサポートセンターなどへお願いいたします。
●回線接続の条件などについてのお問い合わせは、ご契約のプロバイダに
お問合せをお願いいたします。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

お願い

バッテリーのリサイクルについて

本バッテリーは、リチウムイオン電池です。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
不要になったリチウムイオン電池は廃棄せず、端子部にセロテープなどの絶縁テープを貼って、ご購入いただいた販売店またはリサイクル協力店へお持ちください。
※充電式電池のリサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

バッテリーのリサイクル時のご注意

・バッテリーはショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
・バッテリーの外装ラベルや外装をはがさないでください。
・バッテリーを分解しないでください。

リチウム系電池輸送規制について

本製品は、リチウムイオン電池を使用しています。本製品とリチウムイオン電池を組み込みまたは同梱して輸送する場合は、輸送会社に「リチウムイオン電池を含んだ内容物」であることを伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。法令に基づく表示等を行わないで、空輸、海上輸送を行いますと、航空法、並びに船舶安全法に抵触し、罰せられることがあります。

本製品の輸送時のお取扱いについて

故障や解約などで、本製品を返却する際には、本製品一式（添付品含む）をお送りください。また、破損を防ぐために、本製品の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材に梱包してお送りください。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本国政府の輸出貿易管理規則（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する際は、お客様の責任および費用負担において必要な手続きをお取りください。詳細については経済産業省へお問合せください。

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

本製品で使用しているソフトウェアについて

OpenSSL
本製品は、セキュリティ確保のため、自動設定時に通信を暗号化しています。
通信の暗号化には、OpenSSLプロジェクトで作成されたOpenSSL Toolkitソフトウェアを使用しています。
OpenSSL Toolkitソフトウェアは世界で広く使用されており、ライセンス契約を順守することによって無料で使用できます。
以下にOpenSSL Toolkitのライセンス規約（原文）を記載します。
なお、本製品のマニュアルなどで記載されている通常の使用においては、ライセンス規約に違反することはありません。

ライセンスに基づく表記
ライセンスに基づき、本製品で使用しているソフトウェアの著作権、ライセンスを以下に記載します 。
GNU General Public License, version 2 (GPLv2) またはGNU Lesser General Public License, version 2.1 (LGPLv2.1)
ライセンスが適用されたソフトウェアにつきましては、本製品をご使用のお客様が当該ソフトウェアのソースコードを入手・改変・再配布することができます。

ソースコードについてのお問い合わせ：MAIL　　sales@artiza.co.jp

GPLv2、LGPLv2.1が適用されないソフトウェアのソースコードは提供の対象となりませんのでご了承下さい。
また、ソースコードの内容等についてのお問い合わせはお受け付けできませんので合わせてご了承下さい。

ソフトウェア一覧

ソフトウェア	ライセンス
Linux Kernel	記載 1 (GPLv2)
BusyBox	
Iptables	
DNRD	
Iproute2	
Wireless Tools	
hostapd	
libnl	記載2 (LGPLv2.1)
miniupnpd	記載3
thttpd	記載4
OpenSSL	記載5・記載6

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

記載1

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0**.** This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather,

the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)
The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable. If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

記載2

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.
When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.
We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.
For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.
In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.
Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.
4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.
When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.
If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

記載3

Copyright © 2006-2008, Thomas BERNARD

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

記載4

ACME Labs Freeware License

Copyright © 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

記載5

OpenSSL License

Copyright© 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

記載6

Original SSLeay License

Copyright ©1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.

Memo

Artiza Design

Copyright© 2011 Artiza Networks, Inc. All rights reserved.